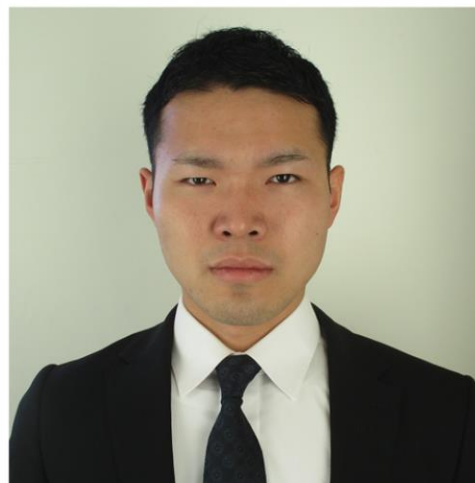


自動車監査指導部

◇簡易プロフィール

- ・所属、職種
自動車監査指導部
貨物担当【事務官】
- ・入局年月日
令和3年4月



◇略歴

- 令和3年4月 海上安全環境部首席運航労務監理官付
- 令和5年4月 自動車監査指導部
首席自動車監査官付（貨物）

◇現在の業務内容

自動車監査指導部は、重大事故が発生した場合など、監査官が自動車運送事業者に直接立ち入って関係者への事情聴取や帳票類の確認を行う監査を主な業務としています。

「監査」は、自動車運送事業者が輸送の安全を確保するとともに、運輸の適正を図るための関係法令を遵守しているかをチェックするものです。監査において法令違反が確認された場合には、事業の停止や車両の使用停止といった厳しい行政処分を科す一方で、適正な事業運営が図られるよう改善に向けた「指導」も行っています。

◇入局したきっかけや、理由はなんですか

公務員試験を受験するにあたり、当初関東運輸局は全く考えておりませんでした。しかし、第一志望だった他官庁に最終合格できず、当時まだ採用面接を実施している省庁を調べたところ、関東運輸局にたどり着きました。



◇やりがいを感じる瞬間は どういったときですか

監査業務は事業者に対し不利益な処分を科す立場にあることから感謝されることは少なく、自分の仕事が直接役に立っていると実感するのは難しいですが、国民生活や経済活動に必要不可欠な運送事業の最も重要な安全面の一端を間接的にでも担っていることは、やりがいと感じています。



◇国家公務員を目指す方への メッセージ

一口に国家公務員と言っても様々な業務があります。関東運輸局においても陸運、海運、観光等、様々な分野に係る業務を所管しており、私のように人事異動で海運系から陸運系へ配置換えになることもあり、様々な分野を経験することができるのも関東運輸局の魅力だと思います。

実際に働いてみないと、自分に合う仕事か、自分の得意を人のために活かすことができる仕事かを判断することは難しいと思います。そんな時は少しでも興味のある省庁があれば、官庁訪問や説明会に参加し、業務内容を聞いてイメージを膨らませたり、働いている職員から職場の雰囲気を感じてみるのも良いと思います。

現在、国家公務員を目指している学生や社会人の方にはぜひ、関東運輸局も選択肢の1つとして考えていただければ幸いです。